

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 10月 4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100165		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい段原		
所在地	広島市南区段原山崎3丁目6-1 (電話) 082-510-5588		
自己評価作成日	平成22年9月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.nksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3490100165&SCD=320>

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成22年10月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

法人全体が同じ目標（好縁会生活づくり10か条）に向かってケアをしている。その為の内部研修（講義や個別実技指導等）も積極的に行われている。マイスター制度や研修制度の導入により、職員の知識と技術の向上を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

運営母体が医療法人であり、日々の医療支援、重度化や終末期に向けた医師・看護師のバックアップを背景に、スタッフの献身的な支援が心強い。経営理念を具体化した10か条の行動指針を基に、スタッフ個々が年間目標を設定し目標の達成に向けて精力的に取り組んでいる。そのことが理念に基づいたサービスの提供の実践に活かされている。運営推進委員会を通じて地域との交流も深まりつつあり、災害時の地域の支援も確認されており、ホームが地域から受け入れられていることがうかがえる。又、外食やドライブを適宜に取り入れ、特に年2回、マイクロバスで花見等の遠出を計画・実施している等、職員一丸となり利用者本位のサービス提供の実施に向けて努力が払われていることは高く評価できる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念及び好縁会生活作り10カ条を主軸に、管理者と職員はその意図とするところを共有し、実践につないでいる。朝礼時は全員で復唱し、サービスを提供している。	法人の経営理念・実践目標を基に設定された「生活づくり10か条（心が動けば身体も動くetc.）」を毎日、スタッフ全員で確認し、日々のサービス提供で常に意識し、実践につなげている。更に全スタッフがチャレンジシート（年間の個人目標）を作成し、より良いサービスの実施を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、班長を務めている。町内清掃等、地域の行事にも率先して参加し、地域の方々との接点をもてるように心がけている。	町内会班長を2年連続で引き受け、婦人会にも加入し健康体操教室を開催するなど、地域との連携に努めている。9月には『納涼祭』を開催し、老若男女100名を超える参加を得て綿あめやそうめん流し等を皆で楽しんでいる。地域住民との交流も着実に深まりつつある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	介護に関して困ったことなど、気軽に相談して頂けるように、地域包括支援センターや町内会長にグループホームの存在をお知らせ頂いている。 職員の知識向上の為、研修会等に積極的に参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二カ月に1度行い、利用者様の日常の様子を写真などを会議で見たり、参加者との話し合いの場を設けている。頂いた意見は早急に改善できるように取り組んでいる。	利用者・家族代表を始め地域住民代表として民生委員や地区包括センターの参加のもと、定期的開催されている。行事実施報告を中心に生活振りをテレビにて放映し、分かり易く報告するなど工夫されている。出席者との意見交換も活発で、運営に活かされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域行事や手伝い等がある際には、連絡頂き参加して行く。	市担当窓口には年2回、空き室状況、職員異動情報等の必要な報告は実施しているが、その他の面では密な関係は進んでいない。反面、町内会の運動会や公民館祭りへの案内・誘いを受けるなど町・地区とは良好な関係が築かれている。	

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を開設時より立ち上げている。研修などに参加し、職員への意識を高め防止に努めている。</p> <p>玄関の施錠も防犯上夜間のみで、日中は自由に出入りができるようになっている。</p>	<p>ホーム開設当初より「身体拘束委員会」が設置されており 身体拘束を『あり得ない、あってはならない』こととしてスタッフ全員の共通認識として徹底が図られている</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止委員会を開設時より立ち上げており、研修などに参加し、研修内容は報告書にて全職員に周知させている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用されている利用者様が一名おられる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や、重要事項説明書にもとづき、入居者及び家族に十分な説明を行い、不安・疑問点について伺っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様一人一人に担当をつけ、個別にゆっくりと話す時間を作り、苦情、意見を言いやすい関係づくりに努めている。またそこから要因を探り、課題を検討している。ご家族様については家族会での意見交換や、話しやすい関係づくりに努め、ケアプランの説明時などにも意見を頂いている。</p>	<p>、家族の面会時にはスタッフより積極的に声かけを行い、意見・要望を引き出すよう努められている。運営推進会議や家族会での発言の場やケアプラン説明時にも、意見収集の絶好の機会ととらえ活用されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度フロアミーティングを行い、業務に関する意見や改善案を出し合い、フロア状況に合わせて対策を取っている。</p>	<p>月一度、開催されるスタッフミーティングでは、意見発表の時間帯を必ず設けている。事前に意見・要望を考えておくよう各スタッフに呼びかけられており、欠席者は意見のメモを提出してもらおう等、意見の収集は前向きに行われている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>マイスター制度を導入し、年に1回筆記、実技試験を施行し、技術・知識の向上を目指している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内に研修委員会があり、内部研修（ステップアップ研修）を行っている。外部研修に関しても、研修費補助や勤務内参加ができ、研修に参加しやすい体制がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>法人内のグループホームが集まったの意見交換は行っているが、他事業所と交流する機会は持っていない。当法人のホームの紹介を兼ね、関係事業所への訪問は行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>可能な限り、ご本人から状況を伺い、少しでも不安を取り除けるような対応ができるように努めている。</p>		

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	ご家族から十分に話を聞き、安心して任せていただけるよう、意向や不安を伺っている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	他のサービスの情報も、可能な限りお知らせできるよう、居宅支援事業所と協力している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	可能な限り、共に生活し、出来る事はご自分で行っていただけるような支援をしている。見守り、寄り添い、支えあう関係を築きながら支援している。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	ご本人の体調、様子などを細かくお知らせすると共に、その時々不安や心配ごとを聞き、ケアの方向性を一緒に考えている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	大切にされてきたなじみの方々、来所しやすい雰囲気作りに努めている。また、散歩や行きつけの病院などで知り合いと話せる機会を、大切にしよう努めている。	昔馴染みの集う同窓会への参加、墓参りや希望する美術展へ出かける等の柔軟な支援がされている。利用者の知人・友人の来客を迎えた時は、極力、スタッフがお二人の話し合いに加わり、側面から会話を盛り上げ、関係を築き、ホームへのお客としても歓待している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様が孤立されないよう、職員が間に入り、よりよい関係づくりに努めている。役割を持って頂き、それを通じて関わり、支えあえるような環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	継続的な関わりを必要とするケースは発生していない。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	今まで過ごされてきた生活習慣に近付ける為、レクリエーションなどは苦手な方には無理強いせず、個別に外出支援を行ったり、ご本人の意向を大切に、個別ケアに努めている。	利用者と職員が一緒にお茶の時間を過ごし、会話を通じて意向・希望を掴むようにしている。気持の不安定な時は時間・場所・担当にこだわらず、職員が交代で本人に寄り添い、表情・行動を見守り、意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族より提供された基本情報やアセスメントシートを活用することにより、ほぼ把握できている。又、ご家族やご本人から話を伺い現在の生活場面からの把握にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活記録を毎日付けており、全職員が把握し、変わった様子があればわかるように連携をはかるように努めている。利用者様一人一人に担当をつけ、特に関わりをもち現状が把握できるように努めている。		

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族（キーパーソン）必要な関係者が一同に集い、介護計画とモニタリングを行っている。 意見やアイデアが反映される介護計画の作成に努めている。</p>	<p>家族・本人・ケアマネ・担当者等が一同に会、計画作成のための話し合いを進め、見直しは3カ月に一度行っており、素案に家族・本人の意見を取り入れた修正案を提示し、承認の得られたものを最終案としている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランを実践できるように努め、日々の何気ない一言や行動を記録し、職員間で情報を共有し、3カ月ごとの介護計画見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>可能な限りご本人やご家族のニーズに添えるよう努めている。 今後も既存以外のサービスを柔軟な姿勢で提供できるよう、多機能化に取り組んでいく。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ボランティアの方にご協力頂いたり、警察や消防にもご協力いただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人やご家族の意向に沿った、適切な治療が受けられるよう支援している。</p>	<p>運営母体である西条の病院に年2回、検診に出向いており、週1回の往診もある。眼科・耳鼻科等の検診も2週間に一度あり、安心な医療環境が整っている。利用者の希望する本来のかかりつけ医からの支援も適切に行われており、現在も3名が通っている。</p>	

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度の訪問看護にて健康管理が行われている。(24時間体制でいつでも連絡が取れる) 常時看護師と連携をはかり、医療活用の支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して入院生活を送っていただけるよう、また早期の退院に向けご本人、ご家族、医療関係者と話し合う機会を作り、連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族、主治医、関係者が話し合いを繰り返し、方針を共有しているが、ご本人とは出来ていない。 終末期ケアをどのように支援していくのか、職員は状況を把握、共有に努めている。	本人・家族が希望すればホームでの看取りも行っている。入居時に重度化・終末期に関するアンケートを取り、それを基に話し合いを行い、事前に方向性を確認している。その時期が近づいた時、家族・スタッフ・医師・看護師でカンファレンスを開き対処法を再確認し共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修で学び、実践へとつなげられるよう努力している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。 運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について地域との協力体制を築いている。	「いざとなったらなべ底をたたいて知らせて！自分の所が火事になったらホームに避難させて！」運営推進会議の場でも災害時の対応が出席者により活発に討議されている。消防署の指導のもと夜間を想定した避難訓練が実施される等、災害に対する意識・関心は高い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応をしている。</p>	<p>お世話しているでなく「お世話させて頂いている」が利用者さんに接する根本的な考え方。親しみの中でも、チャンづけ・赤ちゃん言葉・友達目線がないよう職員間でも注意し合っている。排泄等で失敗された時は、本人が傷つかないように最大限の配慮・気遣いで声かけ・誘導が行なわれている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>その人らしく生活できるよう、自己決定を大切に自由な自己表現できるような雰囲気作りに努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>可能な限りペースを合わせ、希望に添えるように努力している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<p>月に一度の訪問理美容が入っている。行きつけの美容院に行かれる利用者様もいる。季節感を損なわない身だしなみに配慮した支援に努めている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事の献立、買い物、準備、配膳、下膳、片付けなど可能な限り利用者様と共に行うようにしている。時には外食したり、おやつを食べに行ったりしている。</p>	<p>お正月・七夕等の行事食を取り入れることは勿論、日々の献立も利用者の希望によりメニューチェンジすることもある。又、回転ずしに行ったり、フードコートでアイスクリームを食べたり、皆で楽しい食事・楽しい時間を過ごす支援が行われている。</p>	

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士や看護師と連携を図り、栄養指導を受けている。 水分をまとめて摂るのが難しい方は、こまめに水分を取って頂くよう努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>歯科往診が定期的に入っている。 毎食後口腔ケアを行って頂き、介助が必要な方はお手伝いさせて頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のパターンや習慣の把握に努め、トイレ誘導を試みている。 機能的低下に配慮し、布パンツにパットを使用し、紙パンツも出来るだけ使用しないように努めている。</p>	<p>新人・中途採用の研修には排泄の自立支援の研修を必ず取り入れている。特筆すべきはスタッフ自身がオシメを着用し体感・実感し、利用者の立場を理解した上でのサービスの提供が心掛けられている点にある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師、管理栄養士を連携を図り、便秘予防・対応・対策を取っている。 食後のトイレ誘導や適度な運動を取り入れて対策している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り希望に沿った入浴の支援に努めている。</p>	<p>チェック表を参考に、利用者のその日の状態をスタッフで話し合い、入浴の順番を確認しているが、最終的には本人に意思確認することを基本としている。 「一番に入りたい・ゆっくり1時間入りたい・毎日入りたい」等、利用者の希望を考慮した柔軟な支援がされている。</p>	

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室で閉じこもりにならないよう注意しながら、日中は自由に過ごして頂いている。 昼夜逆転しないよう、午前中はゆっくり過ごして頂き、午後からは出来るだけ起きていただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は個々の内服薬リスト・アセスメントシート・薬一覧表などを活用し、状況をほぼ把握できている。 服薬管理には意識の徹底を図り、慎重に取り扱っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	役割を見つけ、日課として無理のないようおこなって頂いている。 散歩、ドライブや月に一度の行事などで生活が潤うように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個別の外出支援を行っている。 ご家族の了解を得て、お一人で外出される方もいる。 今秋、一泊二日の旅行を予定している。 花見、紅葉狩りなど遠出して季節を感じて頂けるよう努力している。	利用者の求めに応じてドライブやカラオケに行ったり、外出を楽しんでもらっている。特に春・秋、年2回、マイクロバスで花見や紅葉狩り等の遠出が行われており、生活の張りとりズムを重視した、良質な外出支援の実施にスタッフ一丸となり取り組まれている。	イベント的な季節の外出支援には惜しめない努力が払われているが、日常的な散歩の頻度が多少、少ないように見受けられる。理想を言うなれば、一日一回、短時間でも外出し、外気に触れ心身ともにリフレッシュされる方向での実施が検討されることを望みます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望や能力に応じて、ご家族了承のうえご本人に管理して頂いている。		

もみじ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望に添うように電話をかけていたり、取り次がせて頂いている。年賀状の返事などお手伝いさせて頂いて大切な方との関係を継続できるよう支援に努めている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの空間作りができるように、あまり家具を動かさないなど、配慮している。トイレなどは迷わないように、分かりやすく表示している。	リビングの窓は大きく、空調のきいた室内は明るく心地よい。事業所内に美化委員会を立ち上げ、年間を通して清潔管理が実施されている。又、気分転換でソファをコーナーに並び変える等のレイアウト変更をこころみたり、居心地よく過ごせる取り組みがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	思い思いの定位置があり、気の合うかたと楽しく過ごせるような家具の配置など工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内の家具や持ち物等は、ご本人の使い慣れた馴染みの物をお持ち頂く様お願いし、なるべく以前のお住まいに近い形で過ごして頂けるよう取り組んでいる。	ベッドやタンス、小物に至るまで利用者の持ち込みとされている。写真や仏壇等の思い出の品、テーブルや鏡台等の使い慣れたものが持ち込まれ、居心地良く過ごせる利用者・家族の好みのレイアウトがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりの出来る事、得意な事、わかることを活かす生活を目指し、自信につながるように支援している。自立した生活を安全に送って頂けるよう統一したケアを行い、工夫を重ねる努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・基本理念及び好縁会生活作り10か条を主軸に、管理者と職員はその意図とするところを共有し、実践につないでいる。朝礼時は全員で復唱しサービスを提供している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・事業所自体が地域の一員として生活できる様、町内会に入会し、昨年引き続き当番を務めている。毎月一度の寄り合いには必ず出席し、地域交流を大切にしている。又、婦人会にも入会し、先般健康体操教室を催した。今後も地域の活動には積極的に参加していく方針である。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・認知症の理解や支援の方法をはじめ、介護に関して困ったことなど気軽に相談して頂けるよう、包括や町内会長にグループホームの存在をお知らせしている。 ・近隣の方々へも必ず挨拶を行い、いつでも気軽に立ち寄って頂けるよう交流を重ね、その旨お伝えしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・運営推進会議を二カ月に一度行い、事業所の状況やサービスの実際を伝えている。又、利用者様の日常の様子をテレビ上映で見て頂き、参加者との話し合いの場を設けている。ご意見やご要望には早急に対処・改善するよう努め、サービスの向上を心がけている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	・地域行事や手伝い等参加させて頂く中で、機会を得、事業所の実績やサービスの取組みを伝えている。協力関係にも連絡を密に行い連携を図っている。が、さらによりよい関係が築けるよう取り組んでいく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者及び全職員が身体拘束をしない正しいケアを理解し実践している。 ・玄関はデイサービスと共用になっており、夜間防犯止むを得ない場合などを除き施錠されていない。日中は自由に入出入りできる様になっている。 		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会が設置されている。定期的に会議を開催し、虐待が見過ごされることがないように防止に努めている。 ・会議内容は議事録にて全職員に周知徹底させ、防止に取り組んでいる。 ・今後も研修会など積極的に参加し防止に努める。 		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は研修会などに参加し、知識・理解を深め熟知できる様に取り組んでいる。 ・必要な方への活用を支援できる様、関係者とともに話し合っている。 		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書や重要事項についてきちんと説明をさせて頂いている。変更が生じた場合にも都度お知らせし説明を重ねている。 ・又、不安や疑問点を伺い、ご理解・納得頂けるよう説明を図っている。 ・契約に関する説明は全般納得同意を頂いている。 		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様には職員を担当制とし、個別支援に努めている。 ・ご家族が都合上他の職員や外部者が良いと思われた場合には、その方向へ向けての環境作りや配慮に努めている。 ・日頃より周囲との信頼関係の構築に努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・月に一度、及び適宜フロアミーティングを行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。その後、状況に合わせた対策・改善を行い、より良い運営に反映させるよう努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・個々に年度目標（チャレンジシート）を作成させ、目標達成のための手段・方法を実行計画にそって取り組めるよう、就業環境条件の整備に努めている。</p> <p>・評価表を起用し、個々の努力や実績・勤務状況などを把握できる様にしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>・法人内に研修委員会があり、内部研修（ステップアップ研修）が頻繁に行なわれている。</p> <p>・外部研修に関しても、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>・法人内では勉強会・相互訪問などの交流活動をおこなっているが、同業者と交流を図る機会を獲得できていないのが現状である。</p> <p>・今後は積極的な活動に取り組み、サービスの質の向上に反映させていく。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>・可能な限りご本人の思いを伺い・受け止め、少しでも不安を取り除けるよう努めている。</p> <p>・安心を確保するための関係作りには、職員が一丸となり取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>・ご家族の不安やご要望など十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けていただけるよう、信頼関係の構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>・居宅支援事業所と協力・連携をとり、他のサービス利用情報も可能な限りお知らせできるよう努めている。 ・アセスメント表を活用し、まず必要とされるサービスの見極めを行い、支援へとつないでいる。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>・可能な限り共に生活し、主体性のあるその人らしい時間を過ごして頂けるよう努めている。 ・寄り添い、支えあう関係の共にある生活を目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>・その時々のご本人の状態・状況を細かくお知らせし、その上でのご家族の不安や心配事を伺い、共に支えていけるケアの方向性を一緒に考え、身近な関係を築けるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>・大切にされてきた馴染みの方々が来所しやすい対応や雰囲気作りを行い関係を絶やさないように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・利用者様が孤立されないよう、職員が間に入り、より良い人間関係作りを努めている。 ・利用者様同士が関わりあい支え合えるよう、環境作りに配慮した支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・継続的な関りを必要とするケースは発生していない。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・各担当者が密に寄り添い、ご本人の思いを十分に聞き出す事が出来るよう努めている。 ・場合によっては職員を代え、思いを汲み取る努力をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・ご家族より提供された基本情報やアセスメントシートを活用することにより、ほぼ把握できている。 又、ご家族やご本人からも話を伺い、現生活場面からの把握にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・ご本人の出来ること・したいこと・力を生かしたその人らしいケアプランが作成できるよう取り組み、日々の生活状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人・ご家族（キーパーソン）・必要な関係者が一同に集い、チームでつくる介護計画とモニタリングを行っている。 ・意見やアイデアが反映される現状に即した介護計画の作成に努めている。 		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細で分かり易い記録を心がけ、その記録を基に各担当者が介護計画を立てている。 ・職員は情報を共有し、基本三ヶ月ごとの介護計画見直しに活かしている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りご本人やご家族のニーズに添えるよう努めている。 ・今後も既存以外のサービスを柔軟な姿勢で提供できるよう、多機能化に取り組んでいく。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方に来所頂いたり、警察や消防にもご協力頂いている。（防災訓練など） 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医と事業者は連携を図り、納得が得られた関係を築いている。 ・ご本人やご家族の訴えやご意向に添った適切な医療が受けられるよう支援している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一度の訪問看護にて健康管理が行われている。(24時間体制でいつでも連絡が取れる) ・常時看護師と連携を図り、医療活用の支援をしている。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時には安心して入院生活を送って頂けるよう、又出来るだけ早期の退院に向け、ご本人・ご家族・病院関係者と話し合う機会を作り、連携に努めている。 ・病院関係者との良好な関係作りに努力している。 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族・主治医・関係者が話し合いを繰り返し方針を共有しているが、ご本人との話し合いは出来ていない。 ・終末期ケアをチーム一丸となり、どのように支援していくのか、職員は状況を把握・共有し、チーム支援に取り組んでいる。 		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は研修で学び、実践へとつなげるよう努力をしている。 ・今後も確実に実践力を身に付けられるよう積極的かつ定期的な研修参加を目指す。 		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。 ・運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について地域との協力体制を築いている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・尊厳の保持を念頭においた言葉かけや対応をしている。 ・人的・物的にも配慮をしている。 		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の生活がその人らしく、思いと希望に添えるよう、自己決定の基本支援を大切にしている。又自由に表出していただけるような雰囲気作りを目指し働きかけている。 		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の思いを尊重し、その人らしい暮らしを支援している。 ・可能な限りペースを合わせ、希望に添えるよう努力している。 		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回の訪問理美容が入っている。 ・ご希望に添って利用されている。 ・行き着けの美容院を利用されている方もある。 ・季節感を損なわない身だしなみに配慮したおしゃれ支援を目指している。 		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の献立・買い物・準備・配膳・下膳・片付けまで、可能な限り利用者様と共に行うようにしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士や看護師と連携を図り、栄養指導を受けている。 ・状態や力・習慣に応じた支援に努めている。 ・ケアプランへも反映させている。 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科往診が定期的に入っている。 ・職員は毎食後口腔状態や本人の力に応じた口腔清潔介助を行い、清潔の保持に努めている。 		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンや習慣を把握し、基本的にオムツは使用しない。紙パンツも出来るだけ使用せず、安心パンツや布パンツでの対応を心がけている。 ・自立支援と並行し、気持ちの良い排泄を目指している。 ・随時個別でのトイレ誘導も行っている。 		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師・管理栄養士と連携を図り、便秘予防・対応・対策を行っている。 ・個々に応じた便秘予防運動を生活の中に取り入れている。 		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望に添った入浴支援を可能な限り行っている。 ・時間に拘ることなく、状況に応じて入浴して頂いている。 ・職員は利用者様に入浴を楽しんで頂けるための気配りを欠かさないよう努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居室で閉じこもりにならないよう注意しながら、日中は自由に過ごして頂いている。 ・生活リズムの判断が困難な方には必要に応じた支援をしている。 ・リビングにソファを置き、自由に休息出来るスペースを確保している。 		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は個々の内服薬リスト・アセスメントシート・薬一覧表などを活用し、状況をほぼ把握できている。 ・職員間での連携を密に図り、症状変化を見逃さないよう努めている。 ・服薬管理には意識の徹底を図り慎重な対応をしている。 		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その方の力を活かした役割を見つけ日課として行っている。 ・誕生会や月に一度の行事を行い楽しんで頂き、気分転換を図っている。 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の外出支援を行っている。 ・今秋、一泊二日の旅行を予定している。 ・ご家族の協力を得て、自由に外出を楽しんで頂いている。 		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・希望や能力に応じて、ご家族了承の上、ご本人に管理して頂いている。 ・必要に応じて買い物出来るよう、ご家族にも協力を仰いでいる。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望に添って電話をかけて頂いたり、取次ぎを行っている。 ・手紙を書かれる方はポストまで一緒に出かけ、ご本人が投函できるよう支援している。 		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居心地良く過ごして頂けるよう、環境に配慮した、共用空間作りに努めている。 ・季節の飾り付けやオアシス空間を設けるなど、家庭の雰囲気にならぶよう工夫をし、リラクゼーションフロアを目指している。 		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思い思いにソファでくつろいで頂いている。 ・気の合った利用者様同士で過ごして頂けるよう座席に配慮している。 ・ソファの配置も角度を考慮し、居場所づくりに努めている。 		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居室内の家具や持ち物等は、ご本人の使い慣れた馴染みのものをお持ち頂くようお願いし、なるべく以前のお住まいに近い形で過ごして頂けるよう取り組んでいる。 		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の出来ること・得意なこと・わかることを活かす生活を目指し、自信につながるように支援している。 ・自立した生活を安全に送って頂けるよう統一したケアを行い、工夫を重ねる努力をしている。 		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている		<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい段原

作成日 平成 22年 12月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	行事としての外出やフロアごとの外出は行なわれているが、個別の外出支援や日常的な散歩等で外に出る機会が少ない。	・なるべく、1日1回は施設の外に出て外気に触れて頂けるようにする。	・なるべく全員に対して、日向ぼっこや散歩等にお連れする機会を増やす。(寒くなる為無理のないように)	期間なし 継続事項
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。